

I・M報告会

大野新吉会員 I Mに参加して



2007-08年度第2560地区第四分区のインターシティミーティングが分水ロータリークラブの藤井三明アシスタントガバナーの指導の元、燕市分水公民

館に於いて、中條パストガバナーの基調講演で盛大に開催されました。当クラブから約30名、総参加会員約200名弱の出席、各委員会毎のテーブルで第一部は開会宣言、挨拶、パストガバナーの基調講演で終了、休憩をはさんで第二部は各委員会毎のミーティングが約1時間30分ありました。私は本年度は親睦委員会ですが、当クラブI・Mに出席された委員会の人数の都合上と思いますが、本年度プログラム委員長、副委員長も欠席、柄沢委員とプログラム委員会のテーブルでのミーティングでした。司会進行は分水RCの八子さん（ロータリー歴13年、趣味・特技は家庭菜園、キノコ採り、山菜採り）が務められました。同委員会ではあらかじめ出席予定クラブの活動計画の資料をまとめておられ、最初のミーティングは自己紹介（会員名・職業・ロータリー歴・趣味・特技等）、資料に準じて進行。各クラブとも当クラブの委員会の目的、事業事項など基本的には同じ考えで進められていましたが、その中に特に目をひいたところでは燕クラブは広報、出席、会報も兼任されているとか、加茂クラブでは外部卓話者年間10名程予定、他に内部卓話そして退会者に再度入会を願いつつ卓話依頼しているとの事でした。

又、少数クラブの巻クラブでは外部卓話をお願いしたいが例会出席者が14～15人位とすくないので講師に失礼になるかと心配で思

うようにいかない等々の他クラブの問題やらご意見の話しの中で終了。その後パストガバナー中條さんの講評では全般に渡りますが、1部の式典、2部の各委員会のフォーラム、特に講評はフォーラムの内容にある訳ですが、各テーブルのディスカッションの中身は判らずじまいですので、今日の委員会毎の話しの内容の提出依頼をされそれを講評とされ、第2部終了、いよいよI・Mの真髓待望の懇親会が準備時間をおいて午後4:30から盛大に開催され多くの友好、輪の広がりを感じながら、7時には4クラブバスにて帰条しました。

今後、各会合・大会に新入会員や不参加がちの会員に是非出席をお願いし、実りある一日を終了させていただいたことを本日のI・M報告とさせていただきます。

外山裕一会員 I Mに参加して



先日、私もI Mに参加させていただきました。入会4年目に成りますが、右も左も判らない状況で初めて参加しました。今年度、社会奉仕委員会ということで星野委員長という事で活動に参加させてもらっています。

私たちのテーブルでも、先程大野さんが言われたように各自クラブ名から趣味まで話しました。三条RCの樺山さん、燕RCの飯塚さん、加茂RCの桑原さん、三条南RCの鈴木さん、見附RCの今井さん、吉田RCの長谷川さん、田上あじさいRCの丸山さん、三条東RCの山井さん、北RCの星野委員長と私が参加しました。分水RCの杉田さんがリーダー役をされ司会進行もされました。

各クラブの行事計画等発表され、星野委員長からは今年度、「食育」に取り組んで行くこと等発表されましたが、私の認識の中にはそういう重い部分の認識が無かったのですが、こ

れから子供も含めて、若い人達にどういう風に教育していけばいいのかと言う風な、まさしくロータリー精神に則った活動をしていると言うことが判り皆さん素晴らしい活動をしていると思いました。こういうミーティング等に参加する様になり漸くチョットづつわかってきたかなと思っています。こういう処に参加をしないと、本当のロータリーの活動とは何ぞやと私自身今まで全く研究心もなく居ましたが、参加する事によって、

ロータリーの趣旨、文章ではなく、皆さんの考えていることが判った次第です。恥ずかしさを感じて帰ってきました。

懇親会には都合があつて、参加できませんでした。参加できればもっと和気藹々と交流の場も持てたのだと思いますが残念でした。

これからも、色々とかこういう行事が有ると思いますが、出来るだけ参加させていただき私もチョットづつロータリアンになれるようにしたいと思っています。宜しくお願いします。

